



SHIZUOKA
BASKETBALL ASSOCIATION

2025年度 第1回

静岡県リーグ支部対抗戦



2025年 7月 27日(日)

富士市総合体育館 5面

富士市立富士川体育館 3面

2025年度 第1回 静岡県リーグ支部対抗戦 大会要項

1. 開催主旨 バスケットボールを通じて、児童の心身の健全育成を図るとともに、他支部との親睦交流を深める。また、静岡県のバスケットボール競技の普及とエンデバーを踏まえた技術の向上を図る目的とする。
2. 主催 静岡県バスケットボール協会
3. 主管 静岡県バスケットボール協会 U12部会
4. 開催日 2025年7月27日（日）
5. 会場 富士市総合体育館（北里アリーナ富士）（5面）
富士市立富士川体育館（ウイングアリーナ）（3面）
6. 参加費 1チームにつき、2,000円。（2試合分） 大会当日、会場責任者に納入する。
7. 参加チーム 各支部推薦の上位8チーム
8. 参加資格 大会前日（2025年7月26日）までTeamJBAに登録・納付済の選手
9. 試合方式 8ブロックに分かれて、各支部順位同士の3チームによるリーグ戦（延長戦なし）
10. 大会ルール
 - ・ JBAが定める2025年度バスケットボール競技規則に準じる。
 - ・ 登録選手は15名まで、チームスタッフは4名までとする。
 - ・ 延長は行わず、順位は決めない。
 - ・ 試合開始時間は大会要項（組合せ）に記載されている予定時間で開始するが、予定時間より遅れた場合は、試合間のインターバルを10分とする。
 - ・ 試合中はスコアシートに記載されたコーチ、Aコーチのどちらかが立ち続けてゲームを指揮することが出来る。但し、（公財）日本バスケットボール協会に登録されたJBA公認E級コーチ以上であること。
コーチライセンス証は印刷し、携帯すること。今大会については電子によるコーチライセンス証の提示は認めない。
 - ・ ベンチは組み合わせ表左側のチームがTO席に向かって右側とし、ユニフォームは白とする。
 - ・ 次試合チームのハーフタイムの練習は認めない。
 - ・ 大会運営上、現行のコート・デザインで行うことが難しい場合は、選手たちに不利益が生じない限り、新コート・デザインで行ってもよいこととする。
 - ・ 富士川体育館についてはメディカルタイムアウトを各クォーターにて適用する。
 - ・ 富士総合体育館については状況によりメディカルタイムアウトを適用する。
11. 審判 全試合帯同とする。
TO、MC（マンツーマンコミッショナー）につきましても同様に帯同とする。
12. 開閉会式 開会式及び閉会式は行わない。

13. 日程
- 8:30 開場
 - 9:00 練習開始
 - 9:15 監督会議（役員・指導者1名、父母会代表者1名）
 - 9:45 試合開始
 - 16:45 片付け
 - 17:30 解散

14. その他

- ・スポーツ傷害保険は必ずチームでかけておく。
- ・手紙およびお土産の交換は行わない。
- ・不明な点は、下記までご連絡ください。
- ・参加者の大会における疾病傷害について応急処置はするが、その後の責任は負わない。

競技委員長 石川 敬一

電話 (090-5959-8904) メール (kouta525.kokoa117@icloud.com)

総務委員長 笹山 昌聡

電話 (090-7046-1760) メール (sasayama.masaaki@plum.plala.or.jp)

15. 個人情報の取り扱い（利用目的）

- ・大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、取得する個人情報について大切に扱う。また、取得した個人情報は、競技大会の資格検査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。
- 大会に参加する選手はこれに同意する。

16. インテグリティー フェアプレーの推進

1. インテグリティの導入

JBAは、インテグリティの精神（誠実さ・真摯さ・高潔さ）に基づき、人間力・指導力・組織力を高め、バスケットボールの価値を高めるための指針決定および啓発活動に取り組んでいます。

2. インテグリティライセンスの確認

会場責任者は大会当日朝の監督者会議時に各チームの指導者に対しインテグリティライセンス所持の有無を確認する。

3. ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」への賛同

「子どもの権利とスポーツの原則」は、すべての子どもの成長と発達を助ける機会としてのスポーツの中で、子どもたちが暴力暴言やハラスメントなどを受けることがないように、子どもとスポーツに関わるすべての人が協力し取り組んでいくための行動指針として作成されました。

4. 子どもたちの主体性を伸ばすコーチングを目指して

子どもたち自身が判断してプレーを楽しむためには、自ら考える力を育てるべきです。そのためには、コーチの言動や態度を変えなくてはなりません。

5. 調和的情熱（ハーモニアス・パッション）で子どもたちと接しよう

アスリート・センタード・コーチングとは、アスリートを中心に置いたコーチングであり、コーチは情熱を持って子どもと接することが求められます。アスリート・センタード・コーチングに求められる情熱は、お互いにしっかりとコミュニケーションを取り、尊重、信頼し合うことです。



CLEAN / Basketball The Game ~ 暴力暴言根絶 ~

U12カテゴリー「指導行動の指針」

JBA U12カテゴリー部会

U12カテゴリーから「暴言・暴力」を根絶し、子どもたちが「楽しく」プレーできる環境をつくるため、指導者の皆さんには「指導行動の指針」として、つぎのことを意識して、指導に当たっていただきたいと思います。

<やってほしいこと>

- ・ はげます
- ・ 元気づける
- ・ 委ねる
- ・ 引きだす・導く
- ・ 判断させる
- ・ 主体性を育てる



<やってほしくないこと>

- ・ 怒る
- ・ 怒鳴りつける
- ・ 指示ばかりする
- ・ 威圧する
- ・ 判断させない
- ・ 支配する



みなさんの指導は
どうですか?